

科目番号	科目名	配当年次	授業形態	単位	担当教員
H206	財政論Ⅱ	2年	講義	2	和田佐英子
授業概要 本講義は、講義形式で行う。日本の財政の現状と課題について、歳出論を中心にして分析し、研究していく。基本的には、テキストを中心にして、歳出全般に学んだ後、それぞれの個別の政策と財政需要についてみていく。今後の社会経済の変化を見越したことによって、社会の変化と財政構造の変化について考えていく。					
到達目標(学習の成果) 財政の現状を理解し、課題を見出す力を得ることを目標とする。特に、歳出論の立場から、財政制度・日本の財政の現状と課題についての基本的な理解と関心を深め、そこから課題を見出すことができるようになる。また、対応策を考えることができるようになることを目標とする。(DP3)					
授業計画					
回	表題	学修内容			
1	財政とはなにか	政府の経済活動とは何かを学ぶ。			
2	平成29年度予算	平成29年度国の歳入歳出予算を読む。受講後、主要な数値は暗記しておくこと。			
3	政府の果たすべき役割と財政	財政の3機能等の復習。テキスト等で復習しておくこと。			
4	財政・金融政策基礎	財政金融政策の基礎を学ぶ。受講後、テキスト等で復習しておくこと。			
5	景気対策と財政政策	景気対策と財政政策について学ぶ。受講後、テキスト等で復習しておくこと。			
6	均衡国民所得の決定	均衡国民所得について学ぶ。受講後、テキスト等で復習しておくこと。			
7	乗数効果・総需要管理政策	乗数効果・総需要管理政策について学ぶ。受講後、テキスト等で復習しておくこと。			
8	ビルトインスタビライザー・国債管理政策	ビルトイン・スタビライザーと国債管理政策について学ぶ。受講後、テキスト等で復習しておくこと。			
9	社会経済状況の変化と日本の財政	日本の国家財政の現状と課題について考える。			
10	少子高齢化と日本の財政	少子高齢化時代の日本の財政的課題について考える。受講後は、財務省資料等で確認しておくこと。			
11	経済のグローバル化と日本の財政	経済のグローバル化に伴う、財政的諸問題を取り扱う。受講後、財務省資料等で復習しておくこと。			
12	国債の累増と日本の財政	国債の累増と日本の財政的課題について考える。受講後、参考資料等で復習しておくこと。			
13	貧困問題と日本の財政	格差の拡大、貧困の連鎖、日本の所得再分配機能について考える。受講後参考文献等を読むこと。			
14	歳出論	歳出予算の中身、制度等や仕組み等を理解させる。日本の歳入・歳出予算を復習する。			
15	国家として果たすべき役割と財政	経済成長戦略、貧困問題の解決、国防問題、安心・安全の確保・人口減少等と国の予算について考える。			

準備学修(授業外の自己学修)

テキスト、参考資料等をするので、それを必ず読んでから受講すること。受講後は必ず復習をすること

成績評価の方法・基準(%表記)

平常点 30%(レポート等) 期末試験 70%

観点	S	A	B	C
日本の財政(歳出論を中心にして)の現状に関する理解	完全に理解できている。	ほぼ完全に理解できている。	十分に理解できている。	一定程度理解できている。
日本の財政(歳出論を中心にして)の課題に関する理解と、その対応策について考える	完全に理解し、対応策を考えることができる。	ほぼ完全に理解し、対応策を考えることができる。	十分に理解し、対応策を考えることができる。	一定程度理解し、対応策を考えることができる。

教科書

水野恵子・奥村正郎・和田佐英子編著『日本の財政と租税法』学文社 2016年3月

参考書等

随時指示する。

履修上の注意・学修支援

わからないことをそのままにしない。必ず、質問にくること。